

一般社団法人鶴見みどりのルート1をつくる会  
令和4年10月度理事会 議事録

日 時：令和4年10月26日（水）14:00～15:30

場 所：聖ヨゼフ学園（横浜市鶴見区東寺尾北台11-1）

出席者：代表理事 高田房枝

理 事 木口多恵子・水野智夫・小川隆・大代小夜子・宇都宮由視  
子  
・鶴巻積（記録）

令和4年10月度理事会の開会にあたり、定款第33条の規定による開会の定足数である過半数を満たしていることを報告。

次に、理事会の議長は定款第32条の規定により代表理事が務めることになっているので、高田代表理事を議長とし、議事に入る。

- 会の冒頭で本年8月に実施した新規イベント「空想植物採取」の内容を記録したPR映像を作成中であるとの報告が高田代表理事よりあった

### 1.活動報告について

- ・10月度クリーンアップを実施した。  
実施日：10月20日（木）9:30～  
参加者：20名超  
年内の予定は ①11月17日（木）9:30～11:00  
②12月15日（木）9:30～11:00

### 2.『BIOCITY』冊子について

- ・8月21日（日）開催の「空想植物採取」イベントが環境から地域創造を考える総合誌『BIOCITY』92号に掲載されたことを受け、正会員・賛助会員に各1部配布（15冊）および広報活動用（10冊）として合計25冊購入することとした。
- ・出版社であるブックエンド様のご厚意により定価（2,500円）の3割引き（1,750円）で購入する。
- ・また、購入希望を募り、纏めて注文することとした（11/10受付締切予定）。

※BIOCITYとは

出版社：ブックエンド

発行間隔：季刊（1,4,7,10月の7日）

BIOCITYは、生命がすこやかに息づく「生命都市（Bio City）の時代」を未来像に据え、持続可能な循環型社会の可能性を求めて1994年に創刊されました。以来2010年まで、最先端の研究やプロジェクト、人材を国内外から紹介、自然のシステムを活かしたエコロジカル・デザインを探求してきました。2011年、東北を襲った大震災と原発事故という未曾有の危機に際し、あらゆる価値観が変化しつつある中、本誌も48号を境にリニューアル。再生可能エネルギー、コミュニティデザイン、エコロジー建築、ランドスケープ、生物多様性、環境教育など、さまざまな分野の実践的な取り組みや研究、言説を紹介しております。（HPより）

### 3.枝サントイベントについて

- ・本年度も2020年、2021年と同様に用意した枝を自宅に持ち帰っていただき、絵を描いて持ち寄っていただく方法で実施する。
- ・材料の枝については、これまで同様に田口園芸様に依頼（11/10を目途）。
- ・スターバックスさん作成の告知ポスターは各事業所で掲示する。
- ・枝の配布は、11月14日（予定）からスターバックよこ駐車場小屋前にて行う（セルフにて）。
- ・作品の回収は11月28日迄を目途に枝の配布場所にて行う（セルフにて）。
- ・作品の飾りつけは、11月30日（水）13:00から予定（同日の理事会は中止）。11/17のクリーンアップで飾りつけの協力依頼をアナウンスする。
- ・作り方動画もリリース予定。

### 4.その他

- ・次回の理事会（2023年1月25日予定）は、懇親を兼ねて12時より木曾路さんで行うこととした。

### 5.次回会議予定

#### ✓1月度理事会

日時：2023年1月25日（水）12:00～

場所：木曾路 鶴見寺尾店

以上で、理事会の議事については、すべて終了した。